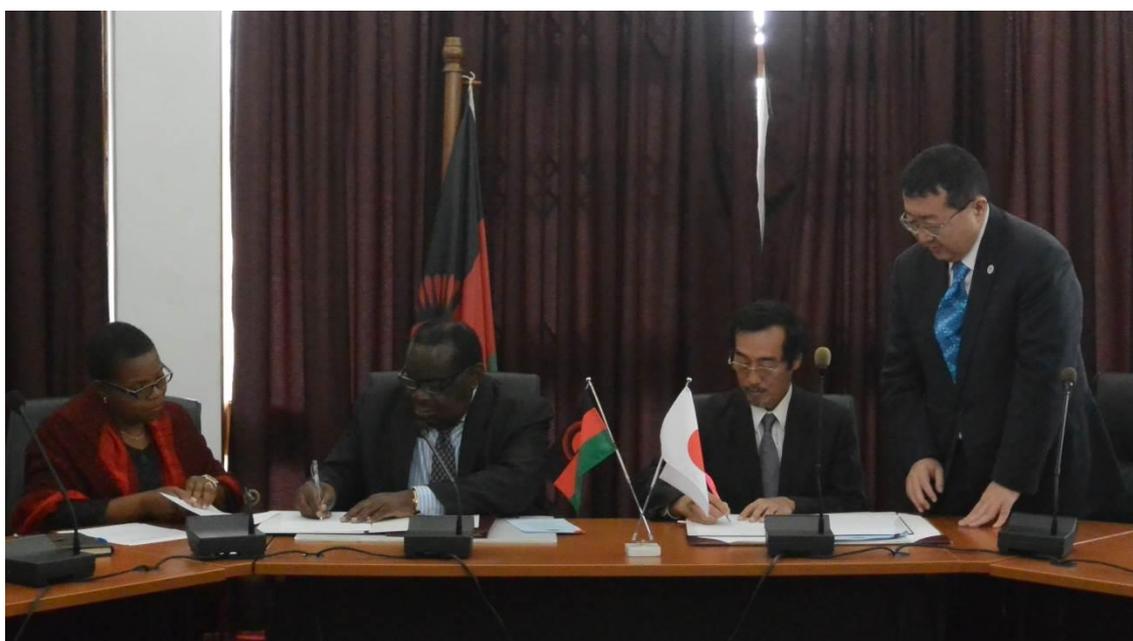


一般無償資金協力
「ドマシ教員養成大学拡張計画」E/N署名式

2017年6月28日



池田臨時代理大使とゴンドウェ財務・経済計画・開発大臣が書簡の交換(E/N)に署名する様子

2017年6月28日、池田駐マラウイ日本国臨時代理大使とゴンドウェ財務・経済計画・開発大臣との間で、一般無償資金協力「ドマシ教員養成大学拡張計画」に関する書簡の交換(E/N)が行われました。

日本政府は、2004年に一般無償資金協力「ドマシ教員養成校改善計画」にて、女性の有資格教員の育成を目指して女子寮を含む施設や機材の整備を行いました。同校のさらなる拡張のために、日本政府は19億4,700万円を供与限度額とする無償資金を供与することを決定しました。本事業では、講義棟、実験棟、図書館、学生寮(男子・女子)等の建設及び家具や機材の整備が行われます。

マラウイ政府によると、マラウイでは、中等教員全体の42.5%が無資格の教員となっています。ドマシ教員養成校には現在1,045名の学生(うち660名が寮生、385名が通学生)が在籍していますが、本事業により、学生の受け入れ能力が2倍となり、将来的には有資格中等教員数を増加させることが可能となります。

池田臨時代理大使は式典のスピーチで、中等教員不足の課題に対するマラウイ政府の取り組みを補完することが期待されると述べました。